

大阪柔整だより

「音叉を使用した骨折判断法」説明会開催

11 月 9 日（土）16 時から大阪柔整会館 5 階大ホールにおいて、研究事業部が現在進めている「音叉を使用した骨折判断法」の説明会を開催いたしました。

この研究は骨折が疑われる所見の患者に対して、音叉を使用して骨折の有無を正確に判断できるかどうかを調査するものです。その背景として、柔道整復師が骨折の有無を判断する場合に、その固有症状や経験則から判断しており、レントゲン撮影などの確立した客観的な評価法は、残念ながら今のところ確立できていないのではないかとと思われる点にあります。そこであまり臨床経験が豊富ではない柔道整復師であっても、正確に骨折の判断が出来る客観的な評価方法を確立すべく、この研究を進めています。

前回の調査では正誤率が 85%と高い数値を示しましたが、年代別統計では 20 歳以下の年代に正誤率が下がる事が判明しました。そこで前回統計を取る際にご協力いただいた会員からのフィードバックを基に再考察し、今回の 2 度目の調査では注意すべき点や音叉の使用方法等の改善を図っています。また前回の調査と同様に、本会が公益事業として運営する医接連携室の医師バックアップのもと、骨折の見逃しなどがないような体勢も整えています。

この日の説明会では改めて手法や理論、目的について説明したのち、実際に音叉を使用したデモンストレーションや練習を行いました。参加した 22 名の会員からは様々な質問がなされ、今後協力を得て研究を進めていくことにご賛同をいただき、説明会は終了となりました。

本会は今後も府民の健康保持・増進のために、柔道整復師のために活動を継続しておこなっていきます。

公益社団法人 大阪府柔道整復師会 研究事業部